

国連人口基金（UNFPA）ナミビア代表による表敬訪問
（令和7年2月12日）

2025/2/12

令和6年2月12日、麻妻大使はゴールドソン（Ms. Erica Goldson）国連人口基金（UNFPA）ナミビア代表とその一行による表敬訪問を受けました。ゴールドソン代表は麻妻大使に対し、令和3年から令和5年まで日本補正予算で実施されたUNFPAの「誰も取り残さない（Living No One Behind）」プロジェクトの背景について説明を行いました。同プロジェクトの主な重点分野には、生計支援、ライフスキル、メンタルヘルスと心理社会的支援（MHPSS）、命を救う性と生殖に関する保健（SRH）、ジェンダーに基づく暴力（GBV）に係るサービスが含まれています。麻妻大使とゴールドソン代表は、日本の政府開発援助における関心分野とUNFPAの重点分野との共通点について確認しました。また、麻妻大使とゴールドソン代表は、プロジェクトが成功裏に実施された後の継続的な影響を評価するため、プロジェクトの現場を共同訪問することにも合意しました。



ゴールドソン代表と麻妻大使



（左より）アモコンゴ UNFPA 副代表、ゴールドソン UNFPA 代表、麻妻大使、山田書記官（大使館）